



# 時流を読む

リスクに対する感性が高まれば、自ずと時代の「先」を読む力が備わってきます。最新ニュースをリスクマネジメントの視点で分析し、今後の展開や社会への影響を予想してみましょう。

国内生保の純資産激減も  
：保険会社に時価会計全面導入

国際会計基準審議会が保険会社に適用する新たな会計基準案を公表した。

それによると、資産だけではなく、保険金支払いなどの負債も時価会計基準の対象となることから、純資産が激減する恐れがある。特に、金利の変動と予定利率との差で負債が増える場合は、経営に大きな影響を与える恐れが高い

大手生保の試算では金利が1%変動することで、1兆円の資産に影響するのだそうだ。さらに、日本の保険会社は株安、不動産安の資産減少にあり、この影響は他国の保険会社よりも大きい可能性が高い。

この制度の導入は、2015年を予定しているようで、2015年前後に生命保険会社の再編が起きる可能性が高い。契約者もこうした面から見直しを考える必要があるかもしれない。

環境製品貿易、  
5年で倍増

2010年の世界貿易投資報告によると、世界の環境製品貿易が09年は15兆5000億円に達した。しかし、日本は、ドイツ・中国・アメリカに次ぐ4位となり、他国に比べ成長率が低いことが心配される。

環境関連機器では、太陽光パネル、鉛蓄電池、蒸発タービン、廃棄物処理ボイラー、上下水管理用品などの輸出が各国で増加している。特に中国は、サンテックパワーなどの太陽光発電メーカーの輸出拡大などにより5年で5倍の伸び率を記録した。

日本は、新興国市場での伸びが特に少ない。日本の新興国に占める割合は4.7%、韓国は80年代に1%だったが、09年には日本に並ぶ4.7%に増加。また、中国は16.7%と、3.5倍に増加した。日本の輸出の70%は先進国向けなのに対し、韓国は50%強、中国は80%弱が新興国向けなのだ。

日中韓の旅行者九百万人増  
：5年後目標

日中韓観光担当相会合で、3カ国間を相互に訪問旅行をする交流人口を、1700万人から2600万人へ拡大させる目標を採択した。

具体的には、ビザの発給手続きを簡素化するなどを行うようだ。さらに、医療、スポーツ、映画、アニメ、飲食分野を観光資源として開発・利用していくことも挙げられた。

また、他方では「地球温暖化に配慮した観光の推進」を共同提案したようだ。観光業の伸びに期待したいものだ。

日本における主力産業であった製造業の衰退、海外への工場移転などにより疲弊する日本経済だが、観光業は大きく期待できる成長産業になっていくことは間違いだろう。

本コーナーは、(株)日本アルマック主催セミナー「全国リスクマネジメント研究会」の内容を編集したものです。セミナーの概要、参加申込方法等については、お気軽にお問い合わせください。

## 株式会社 日本アルマック

〒101-0038  
東京都千代田区神田美倉町10共同ビル2F 27号  
TEL:03-5297-1241 FAX:03-5297-1244  
URL: <http://www.almac.co.jp>

ご意見・ご要望は上記までお寄せください。

VOL.94  
RM INFORMATION 2010.10  
インフォメーション

2010年10月発行 定価378円(税込)